

新潟焼山の火山活動解説資料（平成 24 年 12 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 23 年 3 月 31 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

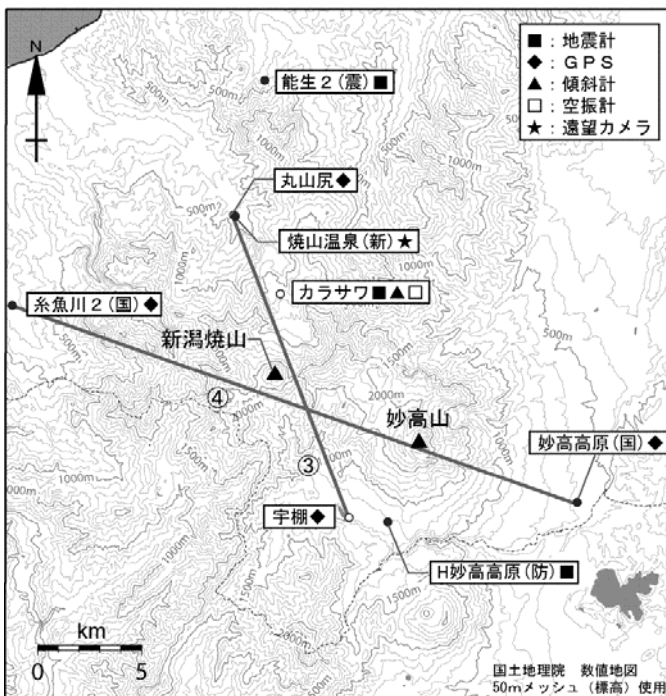
活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図 2、図 3 - ）

新潟県土木部砂防課が焼山温泉（山頂の北北西約 8 km）に設置している監視カメラでは、今期間、悪天候や機器障害のため不明の期間がありますが、その他の期間は山頂部東側斜面の噴気は少なく、噴気の高さは 10～50m で経過しました。

- ・地震や微動の発生状況（図 3 -、図 4 - ）

新潟焼山付近を震源とする火山性地震の発生は少なく、地震活動は静穏に経過しました。火山性微動は観測されませんでした。



小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（国）：国土地理院、（防）：防災科学技術研究所、（震）：東京大学地震研究所、（新）：新潟県

図 1 新潟焼山 観測点配置図

GPS 基線 は図 3 の に対応しています。



図 2 新潟焼山 山頂部の状況
（12 月 14 日 焼山温泉監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 25 年 1 月分）は平成 25 年 2 月 7 日に発表する予定です。

この記号の資料は、国土地理院、東京大学、京都大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び新潟県のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

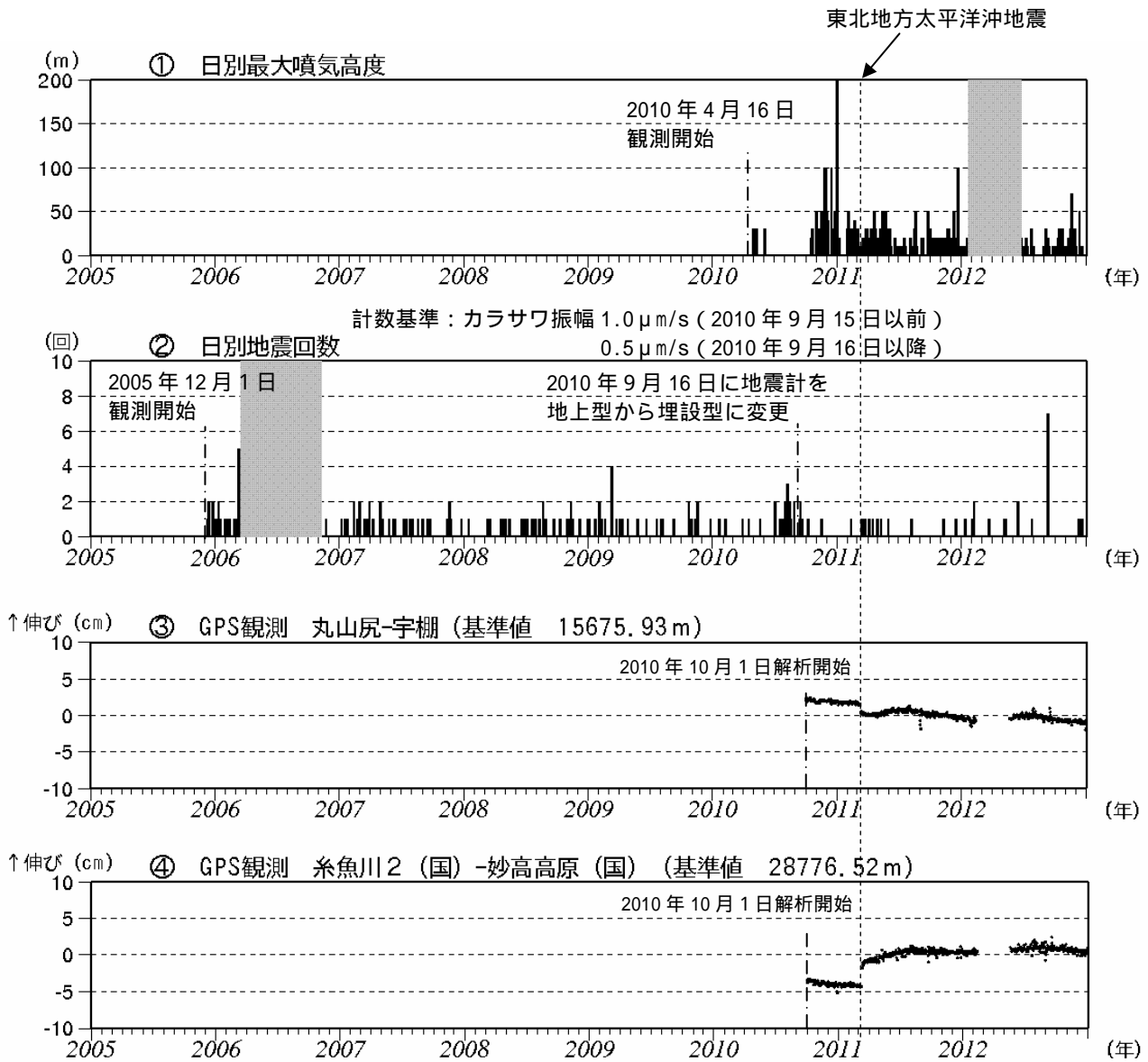


図3 新潟焼山 火山活動経過図（2005年12月1日～2012年12月31日）

：定時観測（09時・15時）による日別最大噴気高度

図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。

：日別地震回数

図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。

：GPS連続観測結果 （国）：国土地理院

の基線には、2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、データに飛びがみられます。

は、図1のGPS基線 に対応しています。グラフの空白部分は欠測を示します。

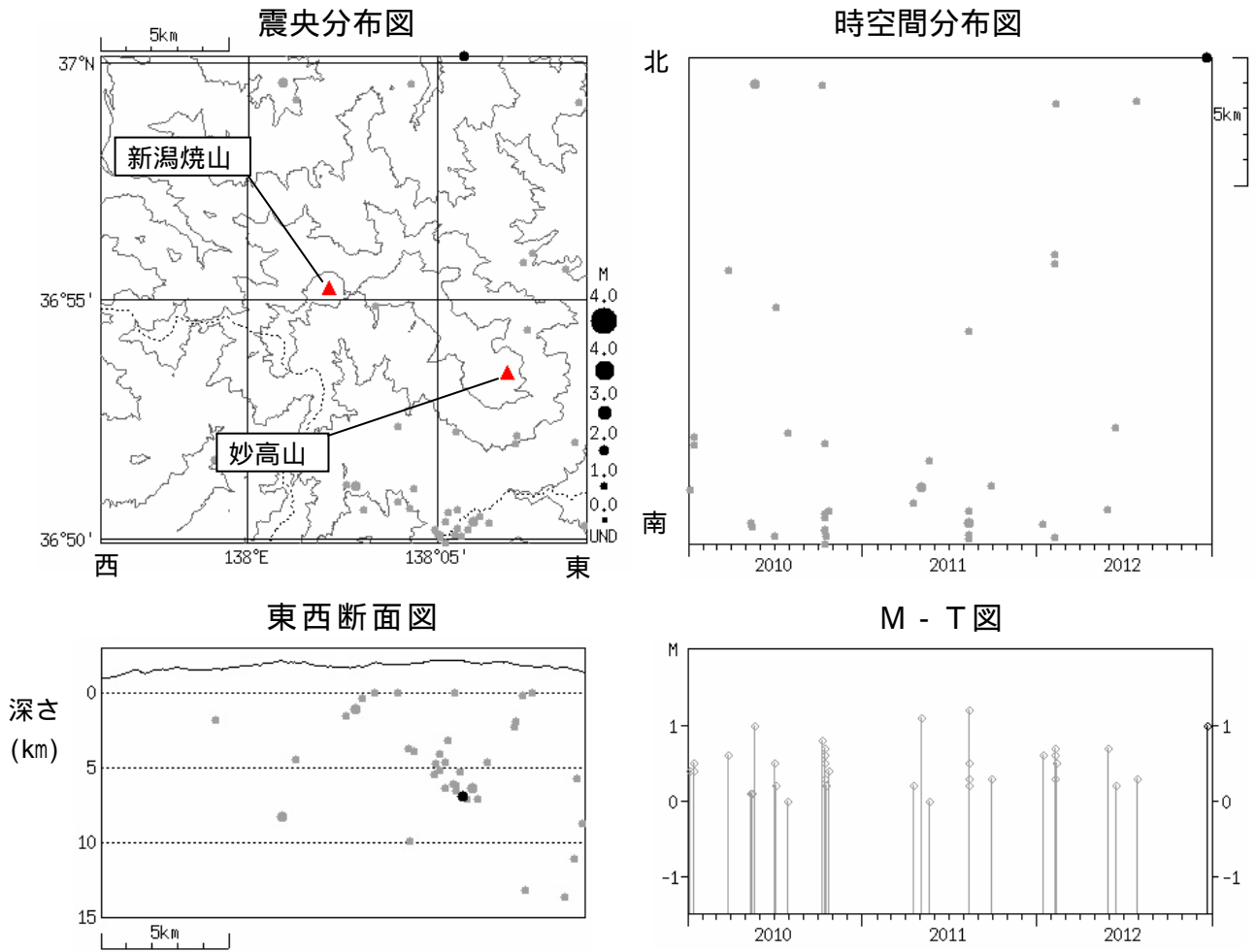


図4 新潟焼山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2010年1月1日～2012年12月31日）
 : 2010年1月1日～2012年11月30日 : 2012年12月1日～12月31日
 M（マグニチュード）は地震の規模を表します。
 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。